

ダスキン健康保険組合50周年を迎えるにあたって 理事長より皆さまへ

理事長 飯田健司
株式会社ダスキン 執行役員



合掌 いつも多大なるお力添えいただきありがとうございます。

令和6年能登半島地震により被災された組合員・事業主の皆さまにおかれましては、心よりお見舞い申し上げます。また日頃より皆さまにおかれましては、健康保険組合の事業運営にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

◆能力に応じて全世代が支えあう全世代型社会保障構築

わが国において団塊の世代の方々が全て75歳となる2025年(令和7年)は、75歳以上の人口が全人口の約18%となり、団塊のジュニア世代が65歳となる2040年には、65歳以上の人口が全人口の約35%となると推計されています。国は、少子高齢化・人口減少を迎える局面に対して、「現役世代は負担のみ、給付を受けるのは高齢者」という固定観念を払拭し、能力に応じて全世代が支えあう「全世代型社会保障」の構築をすすめています。

◆令和7年度(2025年度)からの65歳までの雇用確保

高年齢者雇用安定法による65歳までの雇用確保が、2025年4月からすべての企業の義務になり、株式会社ダスキンはじめ関係会社におきましても、「定年延長」「再雇用制度」のいずれかの施策の導入を実施もしくは検討しています。今後の定年延長や再雇用に向けて、元気に働き続けるための健康管理がますます大切になってまいります。組合員の健康寿命延伸を図るため、健康保険組合はデータに基づく効率的な保健事業を実施し、事業主による健康経営の推進と連動してコラボヘルスをより一層強化してまいります。

◆令和6年度(2024年度)保険料率について

健康保険組合の財政を取り巻く環境は厳しい状況にあります。

すべての団塊の世代が後期高齢者(75歳以上)に突入する2025年を控え、後期高齢者医療を支えるために健康保険組合が拠出する後期高齢者支援金などはますます膨れ上がり、健康保険組合の財政を圧迫します。そのため、令和6年度(2024年度)の健康保険料率は繰越金などを繰入れて11.03%に据え置きいたします。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
健 康 保 険 料 率	10.10%	11.03%	11.03%
実 質 保 険 料 率	11.20%	10.66%	11.33%

◆令和6年度は第3期データヘルス計画のスタート年度

令和6年度(2024年度)から第3期データヘルス計画(6ヵ年)がスタートします。

データヘルス計画は、疾病の早期発見・早期治療、重症化予防により組合員の健康増進を図り健康寿命の延伸を目的としています。

2013年(平成25年)の日本再興戦略において、データヘルス計画が国民の健康寿命の延伸のための予防・健康づくりに資する新たな仕組みとして掲げられ、厚生労働省は2014年(平成26年)3月に保健事業指針の一部を改正し、「すべての健康保険組合は、健康・医療情報(健診・レセプトデータ)を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るため、保健事業の実施計画(データヘルス計画)を策定し、実施する」としました。

そして、平成27年度(2015年度)から第1期データヘルス計画が、平成30年度(2018年度)から第2期データヘルス計画が始まり、健康保険組合などの医療保険者は自健保の健康課題に基づき、より効果的な保健事業を立案、実施してきました。第3期データヘルス計画がスタートする令和6年度(2024年度)からも引き続き、事業所・会社、健康保険組合、労働組合・働きさん代表の三位一体で、生活習慣の改善及び重症化予防、がんの早期発見・早期治療、身体能力の維持向上などに取り組み、組合員さんお一人お一人のヘルスリテラシーの向上を目指してまいります。

◆ダスキン健康保険組合は設立50周年

ダスキン健康保険組合が厚生大臣により認可されたのが、1974年(昭和49年)4月1日。本年度は、ダスキン健康保険組合の設立50周年となります。

設立当時、株式会社ダスキンの創業者 鈴木清一が「なによりも働きさん一人一人が本当に幸福になってほしい。しかも働きさんご自身だけでなく、ご家庭の方も含めて…。」と願って設立されたのがダスキン健康保険組合です。

家族ぐるみで働きさんの健康の管理と疾病予防に取り組むことが、疾病による企業損失の防止にもつながると、働きさん500名ほどの小さな規模の時代から、近年の健康経営の考え方を実践されていた創業者の先見の明には驚くばかりです。これからも創業者の思いを引き継ぎ、皆さまとともに、働きさんとご家族の健康維持増進に取り組み、生きがいのある健康で心も豊かな生活の実現を図るとともに、会社の健全な発展に努め、人に社会に喜びのタネをまき続けたいと思います。どうかお力添えの程よろしくお願ひいたします。

ありがとうございました。合掌